



広島西ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA WEST

No.
1994

例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会 長 田中 健志
幹 事 金本 善行

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail:hwrc@godorc.gr.jp
広島西ロータリー <http://www.hwrc.jp/>

RIテーマ Building Communities Bridging Continents

「地域を育み、大陸をつなぐ」

本年度会長テーマ

「ロータリーを楽しもう」

「会員増強及び拡大月間」「平和月間」

2010年8月19日 第1970回例会

◆ 会長時間 ◆

田中会長



本日のロータリー情報は公式訪問に関するRI・地区・クラブの関係についてです。各クラブの管理運営は、国際ロータリー定款・国際ロータリー細則・標準ロータリークラブ定款に違反

しない限り、自治権が認められています。

そこで、各クラブが効果的に機能するよう、RI理事会が次に挙げる6つの最低基準を採択しました。(1)RIに人頭分担金を納入する。(2)定期的に会合を開く。(3)「ザ・ロータリアン」誌または「ロータリーの友」誌を購読すること。(4)地元と他国の地域社会のニーズを取上げた奉仕プロジェクトを実施する。(5)地区ガバナー、ガバナー補佐、またはその他の国際ロータリー役員の訪問を受け入れる。(6)クラブが所在する地理的地域の適切な賠償保険に加入する。と言う6つです。本日のガバナー訪問をお受けすることは、当クラブがRIに加盟が許される為の最低基準の一つです。

一方で手続要覧の「公式訪問」の項目を読むと、これはガバナーがRIによって義務づけられた任務となっており、その目的は次の4つです。(1)ロータリーの重要な問題に焦点を当て関心を持たせる。(2)ロータリアンの意欲をかきたて奉仕活動に参加させる。(3)弱体および問題のあるクラブに特別な

関心を払う。(4)顕著な貢献をした地区内のロータリアンを、ガバナー自ら表彰する。の4つです。

この4つ目については、本日財団法人米山奨学会から感謝状が届いていますので、先ほど前田ガバナーから新原会員に米山功労者の表彰をしていただきました。

杓子定規に考えると、ガバナー公式訪問は以上の如く堅苦しい会合のように感じますが、お互いに忌憚のない意見交換の場とし、有意義な1日となりますよう皆様のご協力をお願いいたします。前田ガバナーにおかれましては、地区内74ロータリークラブのリーダーとしての大任を背負っておられます。公式訪問はまだ始まったばかりです。健康留意されご活躍されることを祈念申し上げます。

☒ ガバナー公式訪問

前田ガバナー、木村随行幹事、安部グループ7ガバナー補佐、羽井ガバナー補佐付幹事が当例会に訪問されました。



会長幹事
懇談会にて





例会場にて

米山功労者（第2回）感謝状の伝達 新原 靖 会員



会務報告

金本幹事

※例会終了後、ガバナーを囲んでのフォーラムを3階「オーキッド」において開催いたしますので、出席予定の方はもちろん時間の空いた方もご出席下さい。

※今年度取切り戦商品の贈呈



会長杯（紫友会）荒川世話人



副会長杯（囲碁同好会）小田世話人



幹事杯（紫雀会）小橋世話人

委員会報告

出席報告 木村委員長

本 日（8月19日・木曜日）

会員数 85名 出席者 73名

欠席者 12名 ご来客 2名

ご来賓 2名 ゲスト 1名

計 78名

前々回（7月29日・木曜日）

出席率 100%



※ 会報雑誌・広報委員会

諏訪(昭浩)会員

ロータリーの友誌紹介

※ 親睦活動委員会

三浦副委員長

家族会チケットの配布について

※ ロータリー財団委員会

豊岡委員長

GSE（研究グループ交換）派遣メンバーの募集について

GSEの目的：事業と専門職務の経験の浅い人たちを海外の地区に派遣し、次世代の若いリーダーたちの国際的視野を広め、国際理解・親善を深めます。

派遣地区：RI第6220地区（米国・ミシガン州とウイスコンシン州の一部）

派遣期間：2011年4月9日～5月8日

派遣人数：4名(予定)

費用：個人費用以外の旅費・宿泊・食事等の費用はロータリーが負担します

応募資格：職業分野で正職員（社員）として2年以上の勤務経験を持つ25歳から40歳までの心身共に健全な職業人で、英会話の能力があることが望ましい。

ロータリアンおよびその親族は資格がありません。

ロータリークラブ及び勤務先からの推薦が必要です。

応募方法：所定の申請書・勤務先推薦状・RC会長推薦状・健康診断書・履歴書（市販）を国際ロータリー第2710地区事務局へ提出

応募締切：2010年9月15日（水）

面接選考：2010年9月25日（土）

申請者には別途詳細をお知らせします。

その他：10月初旬合格者決定後、派遣前に数回の研修を行います。

派遣期間中にRI第6220地区大会に参加していただきます

問合せ：RI第2710地区事務局・GSE担当

● 同好会報告

紫友会 松岡(輝)世話人

8月7日(土)、芸南カントリークラブにて8月例会が行われました。成績は以下の通りです。

優勝 浜井君 ^{トータル}85 ^{ネット}66.10 ^{アウト}41・^{イン}44

準優勝 梶川君 94 68.80

第3位 金本君 81 69.30

シニア優勝 浜井君

ベストグロス 上田君 75

B. B. 柴田君

次回例会は、9月11日(土)に芸南カントリークラブにて行います。

紫雀会 岡田世話人

木本SAA委員長とのコンビで紫雀会のお世話をさせていただいております岡田です。

私の初仕事の7月月例会が7月22日開催されました。今回は取り切り戦ということで総勢12名の参加者の下、シサール麻雀室で行われました。

優勝は国土無双の役満を含む圧勝で、長年世話人を勤められたご褒美か、いつも楽しい小橋副幹事が勝ち取りました。2位には久々に復帰された頭脳派中村哲朗直前会長、3位にはいつもやかましいと怒られるので小さくなっていた不肖私岡田が入りました。

本年度から新たにご参加いただいた竹本会員、米山会員はブービー、メーカーと揮いませんでしたが、次回に期待ということで懲りずにご参加いただきますよう宜しくお願いします。

来る8月19日は庚午クラブで8月月例会を予定しています。オブザーバーの参加も大歓迎ですので、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

祝 連続出席100% (6名)

吉田君 (32年)	藤田君 (25年)
中村(哲)君(20年)	川西君 (20年)
田戸君 (19年)	上田君 (10年)



連続出席25年 藤田 明信 会員に商品券贈呈



連続出席20年 中村 哲朗 会員に18Kバッチ贈呈



連続出席20年 川西 祐二 会員に18Kバッチ贈呈



連続出席10年 上田 欣一 会員に商品券贈呈

● スマイルボックス SAA 尾形委員

☺前田茂ガバナー

本日、ガバナー訪問で当クラブにおいでいただきました国際ロータリー第2710地区ガバナー、前田茂君から「寸志」を頂戴しております。有難うございました。

☺鈴木義尚君

7月28日付け日本経済新聞によりますと、プルデンシャル生命保険と三井信託銀行は「生命保険信託」と呼ばれる商品を共同開発し、募集を開始されました。高齢化ニーズに対応し、保険金の受け取り人や時期、資金使途の指定を生前に出来る仕組みで、財産管理に多少ご不安を感じておられる方はぜひ、鈴木君にご相談ください。

☺鮫島茂君

8月11日付け中国新聞によりますと、ANAクラウンプラザホテル広島は22階にあるチャペルを本格改装し、デザインを一新されました。式場の新設が相次ぎ、競争が激化する中で「アピール力を強め、婚礼利用の拡大を図りたい」とのことです。結婚適齢期のお子さんや知り合いをお持ちの方は、ぜひ鮫島君の方へお願いします。

● 第2回理事会議事録

と き 2010年8月5日(木) 14時45分～15時45分
ところ ANAクラウンプラザホテル広島 4階
「松の間」

報告事項

- ① 合同幹事会報告（7月20日）、合同事務局運営委員会報告（7月21日）
（金本幹事） 第1回合同幹事会議事録に基づき報告
第1回運営会議議事録に基づき報告
- ② 7月収支決算について
（米山会計委員長） 収支決算書に基づき説明
- ③ 合同事務局の休業日（8月13～16日）について
事務局盆休みを8月13～16日とする。
- ④ 第2期RLI地区研修会パートⅢ 研修リーダーからの報告
井原研修リーダーより、研修会の報告があた。

審議事項

- ① 前回議事録の承認
議事録通り承認された。
- ② 8月9月卓話プログラムについて
事前にタイトルと内容を理事会に提出することを再確認した。
- ③ 鈴峯学園教育講演会への支援について
別紙資料に基づき説明、了承された。
- ④ 第5回新世代のためのフォーラムへの支援について
昨年より減額して、5万円を支援することで了承された。
- ⑤ 8月26日強調プログラム(会員組織部門)について
資料に基づき説明、了承された。
- ⑥ 2010年7月広島県・山口県大水害への義援金協力について
事後承諾となるが、会員一人千円を協力することにつき全員一致で承認された。
- ⑦ リレー・フォー・ライフ・ジャパン2010in広島への支援・協力依頼について
主旨の説明が出来ないので、お断りすることで、全員が一致した。
- ⑧ ダマー映画祭inヒロシマへの後援依頼について
お断りすることで、全員が一致した。
- ⑨ 8月19日ガバナー公式訪問フォーラムをメイクアップとする件
全員一致で承認された。
- ⑩ その他
・ 9月9日のクラブフォーラム（社会奉仕部

門）は、強調プログラムに変更する。

- ・ 例会時に、米山奨学委員会で例年は10月の米山月間で募集をするが、平素の月から米山奨学金の募金をつのることを了承した。
- ・ 7月末日までに、当クラブ会員から青少年交換留学生の派遣申込が、なかったので、文教女子高校より依頼のある青少年交換留学生の派遣について了承された。
- ・ 百万ドルの食事の日程を、8月26日、10月21日、12月16日、2月10日、4月21日の5回とすることで了承された。

次回開催日 平成22年9月2日(木)例会終了後

■ ガバナー卓話



国際ロータリー第2710地区ガバナー

前田 茂氏

今日が20クラブ目の節目の公式訪問となりました。こちらにいらっしゃる諏訪パストガバナーは、私がノミニーの時から色々と御指導頂き大変崇拜する先輩です。こうして色々とクラブを回らしていただく中で、やはりガバナー輩出クラブは一味違った大変重みのある雰囲気を感じさせていただいております。西クラブは、前年度40周年を迎えられ、大変盛会裡に周年行事を開催されましたことに対し衷心より敬意を表します。大勢の会員の中でありながら前年度99.43%の出席率というのは、今まで築かれた伝統の意識の高さにあるのではとも思います。40年連続出席の園尾さんにおかれましてはチャーターメンバーとして、クラブを導くリーダーシップをもちあわせた方だと感心いたしております。どうかお元気でロータリーライフを楽しんでいただきたいと思います。

本日は先程いらっしゃいましたけれども野村鸞さんから能面の説明をいただいております。西クラブよりいただけるとの事、皆様方に感謝を申し上げたいと思います。貴クラブは、姉妹クラブ台南ロータリークラブと1993年より3年毎に再調印をされまして現在にいたっておられます。姉妹クラブは、継続するためにそれなりの努力が必要かというふうに考えます。年度年度組織が変わる中で、それらを越えてお互いの絆を確認して継続されることに深く敬意を表します。加えて友好クラブとしてシカゴロータリークラブ、その交渉キ

パーソンを諏訪パストガバナーがされていると記載がございました。一つの伝統行事として継続されることに大変敬意を表しておるところでございます。

今年度、田中会長のテーマは、「ロータリーを楽しもう」というふうに掲げていらっしゃると思います。また楽しいと思える活動、そして私達自身の成長、また会員の会社の運営に活かすというふうに述べていらっしゃると思います。確かにロータリーは楽しくなくてはなりません。苦痛なロータリーであってはいけないと思いますし、そして例会も来て良かったなと思えるような例会の設営なり気配りなりが必要と考えます。

今年度レイ・クリングスミス会長はテーマを考えるに当たり色々と考えてみたということ述べております。ロータリーとは何か、ロータリークラブとは何をする団体か、この質問に簡潔に答えることができるかどうか、効果的に答えることは大変難しいと言うことを冒頭に述べております。ロータリーのR I テーマは、ロータリアンだけにそのテーマを出すのではなくて、地域社会のロータリーを応援しようとする人、そして、ロータリーに理解のある人達にもそのテーマを出すべきであるということを述べております。このことは、超私の奉仕だけで解決出来ないということをはっきり言っておられます。やはりその時代背景と時代の流れもありますし、もっと広くロータリー理解を進めるのであれば、ロータリアン以外の人達にもその理解を求め、テーマもそのような形のものでないといけないというふうに述べておられます。従いまして、地域を育み、世界を繋ぐというふうなテーマでR I テーマを出されたわけですが、やはり地域にスタンスする以上、その地域社会のニーズを知り、そしてロータリアンとしての一種の使命と申しましょうか、そのニーズに従ってそのテーマを考えないといけないというふうに思います。まず、レイ・クリングスミス会長が言っておられることは、クラブ奉仕と職業奉仕はその人生を謳歌するためのもので別々のものではないと、そして職業奉仕と社会奉仕は地元地域社会をより働きやすく、そして楽しめるものでないといけないということを述べております。従いましてロータリーの絆を持つ事と、飽くなき情熱と冷静でというふうな形で私の信条を述べさせていただきました。組織的な使命がある中で、そこには個々の絆がなくてはならないというふうに考えます。その絆はそれぞれが情熱と次

なる時代を見据えて冷静な判断をしながら、お互いが切磋琢磨する組織でなくてはいけないというふうにも考えます。先程来申しておりますように、先立つ先輩の歴史を踏まえて温故知新ということ述べさせていただきました。その永きに渡る歴史はその当時一生懸命努力され実績を残されたわけで、それらをふまえながら次なる時代へ向けた活動を展開しなければなりません。そして地域の教育力を向上させよということも述べさせていただきました。今現在若者は大変さんでおります。引きこもり現象、これが15歳から40歳までの5千人の青少年のアンケートをとってみますと1年のうち6か月以上家からあまり出ない、コンビニなどで用をたして引きこもっているという青年達が推定で70万人に達しようかというふうな統計調査が出ております。そして学校現場におきましても児童生徒小学校、中学校の不登校児童が年々増えておる現状があります。これに対し、レイ・クリングスミス会長は第五の奉仕、新世代奉仕を打ち出されております。世界では各国の事情もありますが日本においては、青少年に対する政策、そして年齢格差による歩み寄りが少ないように、段々希薄となっているように私は感じてきております。これに対し、国も県も市もそして地域も何か人事のように避けて通っている現象があるのではないかと思います。今の時代を担う青少年が歪んで曲がって進んでいったのでは、前に進まないというふうに考えますし、もっと青少年、新世代に対する視点をもう一度考えないといけないのではないかとこのように強く思います。先日ハーバード大学で初めての女性学長が誕生したというニュースの中で日本のハーバードに留学する留学生が以前は三桁いたそうです。人数にして数百人がハーバードを目指して一生懸命努力して留学をしていたようですが、今や日本から来る留学生は一桁しかない。それに比べて、インド、中国、韓国は、何百人と来ると言うことをインタビューの中で述べておりました。インドでは、そういうITの勉強をする留学生をどんどんとアメリカに送り込んで母国の国力を上げるためにそういう国の努力をしています。また、そして留学する青少年は一生懸命チャレンジしてその先端技術を学ぼうとしております。今や日本は百年先にはどうなっているか想像もつかないような現象が起きているのではないかと感じます。そこで今の時代背景の中で我々ロータリアンはそれらの問題意識を十分に認識し、歩みを進めなくてはならないのではない

かというふうにも感じます。我々地域社会の次なる後継者はそういう状況ではなかなか時代を担ってくれることにならないのではないかというふうに思います。

青少年の歪みひがみ的なことを言いましたけれども、私は合唱団の団長を以前15年くらいしておったのですけれども、そこには小学生、中学生が入ってきます。スポーツが出来る子はスポーツをして自分を発散し、また体験をして汗を流していますが、スポーツの出来ない子供達は行き場のない切なさや、淋しさを持っているようです。従いまして合唱団に入ってくる子供達も、そういう不登校の子であったり、自立出来ない子であったりします。社会の最小単位である家庭が非常に崩壊しております。片親であったり、離婚した親が多く、そういう家庭環境の子供達は淋しさを紛らわすために何かを叫びたいのに何も叫べない、そして何かをしたいんだけどもそれが見当たらない、そういう子がやはり合唱団に入ってきました。これを何とか再生させ、精神的にもっと穏やかに、もっと正常な形に戻してやれないものかということで私は外国の子供と交流させようということを企画しました。それには大変資金もかかりますし、人の時間も労力もかかるわけでございます。まずはホームステイをさせました。ホームステイは外国から来る合唱団をホームステイさせたわけですけど、その子達が一緒に溶け込む時を持たせました。そして、3年後には、アメリカのその合唱団へホームステイに出掛けて行きます。行く時は大変不安な顔をしていましたけれども、段々慣れてきましたら、だいぶ明るさを取り戻しました。そしてアメリカの家庭では一人の人間として彼らを扱いますので、要求することは言葉でちゃんとそのことを言い、同じように家族の一員として過ごす、これらを自分の力でなくてはなりません。小中学生のことですから色々と今まで親に頼りながらしたことも、外国に行くとそれらを自分でするということが必要となってきます。そして1週間ないし10日の期間でそのような体験をさせましたところ不登校だった子供達は学校へ行き出したという保護者の報告も受けました。そして身の廻りの事も自分一人では出来なかった子供もちゃんと自立しなくては行けないということを肌で感じたようだというふうに言われておりました。こうした体験を通して子供達は成長するわけです。今や家庭は核家族化して人間の温もり、暖かみも失いかけております。

ロータリークラブにおきまして、そういう視

点は常に確認をし合い、そして今の日本の動向そして青少年の思いを察知して早く対処をすることが必要になってくる時が、必ずやってくると私は思います。従いまして、広島県の教育も文科省の是正指導を受けたりしましたけれども今やだいぶ立ち直っておりますが、ロータリークラブとしての一つの行動の中に入れていただきながら、こうした大きな西クラブあたりが中心となってリーダーシップを発揮していただいて、それに対する一つのモデルを作っていただきたいというふうにも考えます。一つ一つそのことを検証しながら次なる時代に向けての行動を起こす必要があろうかというふうに思います。時間となりましたが、ますます広島西ロータリークラブの今後の御発展を祈り卓話とさせていただきます。今日はありがとうございました。

2010～2011年度

広島西RCフォーラム

(前田 茂 ガバナー公式訪問に際して)

8月19日(木) 13:45～15:15

ANAクラウンプラザホテル広島3Fオーキッドにおいてフォーラムが開催されました。



● 卓話予告

日時	テーマ
9/2(木)	ITなんか知らなくていい!! 三浦信夫会員